

法規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

(注) 解答は、正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）してください。

〔1〕 免許人は、周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 免許状を提出し、訂正を受ける。
2. その旨を申請する。
3. あらかじめその旨を届け出る。
4. あらかじめ指示を受ける。

〔2〕 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の周波数の偏差及び幅、 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 変調度
2. 電波の型式
3. 高調波の強度
4. 信号対雑音比

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、空中線電力10ワット以下の船舶局の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、電波の周波数がどの範囲のものか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 1,000 キロヘルツから 3,500 キロヘルツまで
2. 1,606.5 キロヘルツから 4,000 キロヘルツまで
3. 2,000 キロヘルツから 5,000 キロヘルツまで
4. 4,000 キロヘルツから 8,000 キロヘルツまで

〔4〕 免許人等は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、電波法の規定によりどうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
2. その無線局の免許人等にその旨を通知する。
3. その無線局の電波の発射を停止させる。
4. その無線局の免許人等を告発する。

〔5〕 無線従事者がその免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 日本の国籍を失ったとき。
2. 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
3. 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
4. 電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき。

〔6〕 無線業務日誌の保存期間は、電波法施行規則では、使用を終わった日からどれほどの期間と定められているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その無線局の免許の有効期間満了の日まで
2. 1年間
3. 2年間
4. 3年間

法

規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. すべての無線局 2. すべての相手方
3. 特定の相手方 4. 通信の相手方

〔8〕 次の記述は、無線通信の原則に関する無線局運用規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線通信は正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、」

1. 直ちに訂正しなければならない。
2. 始めから更に送信しなければならない。
3. 適宜に通報の訂正を行わなければならない。
4. 通報の送信後訂正箇所を通知しなければならない。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際し10分（海上移動業務の無線局と通信する航空機局に係る場合は5分）以上たたなければ通報を受信することができない事由があるとき、応答事項の次に送信することになっているのは、次のどれか。

1. 「お待ちください」及び呼出しを再開すべき時刻
2. 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
3. 「お待ちください」、分で表す概略の待つべき時間及びその理由
4. 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間

〔10〕 無線電話の機器の試験中、しばしば自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める電波の周波数により聴守を行わなければならないのは、何を確かめるためか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
2. 空中線電力が許容値を超えていないかどうか。
3. 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
4. 周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波が使用できるのは、次のどれか。

1. 漁業通信を行う場合
2. 出入港に関する通報の送信を行う場合
3. 電波の規正に関する通信を行う場合
4. 遭難通信を行う場合

〔12〕 船舶局が安全信号を受信したときは、電波法の規定により、どのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
2. 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
3. できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
4. 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。